

私たち“短時間勤務制度”活用してます

～ 短時間勤務制度活用中の社員にインタビュー ～

更新日 2022年2月28日

毎日のタイムスケジュールはそのまま、仕事と家庭を両立したい



私は、2018年4月から9時出社 - 17時退社（通常より30分早く退社）の短時間勤務をしています。元々、アイサスの働き方が（月）～（土）出社で17時退社でしたが、社員の要望もあったことから（月）～（金）出社で17時30分退社となりました。私は子供のお迎えがあるため退社時間を維持したく、30分の短時間勤務をすることにしました。この頃は産休・育休を経験する社員がまだ私しかいなかったため、この制度を取り組むきっかけにもなったと思います。

やっぱり子育てに悩みは付きものです。短時間勤務制度がなかったら学童を延長しないといけなくなりますし、その後の全ての時間配分がずれていくので、子供の寝る時間が遅くなってしまったり…と色々大変です。そんな私に同じ部署の先輩が、気にかけてくれたのでこの制度をスムーズに活用することができました。今思えば、16時退社ぐらいが一番楽だなと思うしこれからの方へはぜひオススメしたいですね（笑）

多様な働きを応援する一つの手段として短時間勤務制度があります

取組みは充実しているし、子育てへの理解もある会社なので要望等はないですが、個々と向き合い仕事内容をしっかり考えてあげることが大事だと思います。その人に合ったやり方がそれぞれあると思うし、子育てしていると急な対応があるため、期日のある仕事をできる人もいれば、できない人もいます。その辺を当たり前のようにヒアリングする機会をもっと増やしていきたいなあと思います。

短時間勤務制度がある会社で良かったと思うのと同時に、子供という存在は、仕事を効率よくすることを改めて意識づけさせてくれます。大変なことも多いけど、やりがいもあります。

必要だと感じたら一つの手段として短時間勤務制度がありますから活用してみるのもありだと思います。



仕事も大事だけど家族も大事。お金には代えられない



私は、2020年4月から短時間勤務をしています。一人目が産まれたときは朝家事をしてから出社するため9時30分出社 - 17時30分退社（通常より30分遅く出社）をしていました。ただ、二人目が産まれて育休取得後は長男がイヤイヤ期に入り、朝に家事をすることよりも早めに帰宅して長男の世話をすることが私の役目となりました。そのため現在は9時出社 - 17時退社（通常より30分早く退社）をしています。

たったの30分？って思うかもしれませんが、家事・育児もだいぶ余裕が出て変わりましたし、何よりも仕事とプライベートの両立をできることが今の自分のモチベーションにも繋がっています。

アイサスに入社した頃は、既に育休中の先輩もいましたし私自身も育休取得を希望したとき「半年取ってもいいよ」と言われたことが奇跡のように驚きました。当時は男性が育休を取得できてもせいぜい3日~1週間程度が多いと新聞等で報道されていたので、長期に育休を取得できたことは本当にありがたかったですね。

「自分らしさ」を大切に

以前、短時間勤務で自分がいない時間に新しく決まったことがあり、焦ったことがありました。今後活用する方も増えてくると思うので、些細な事でも随時確認するよう意識していきたいと思います。

ほんの十数年前までは、男性ならこういう働き方、女性ならこういう働き方という固定的なものが多く、個々人の生活は仕事の次に考えるべきものという雰囲気がありました。しかし、現在は両立しながらいかに自分らしさを出していくかが重要視されていると思います。当社は小さな会社ですが、働く環境の良さは時代の先端を行っていると思います。短時間勤務は良い制度だし、選択肢の幅が広がります。そんな働きやすさに定評のある当社で、私たちと一緒にみなさんの力を発揮していきましょう。

